

高校生として大事な能力 ～社会に関心を持つ～

中学生と高校生の大きな違い。それは大人への距離です。高校生は限りなく大人に近い。まだ、大人になりたくないかもしれないが現実を受け止めよう。そして、大人になるための準備を始めよう。コロナ休校期間はその準備に最適な条件だ。

今まで親や先生が自分の歩く道を決め、歩き方を教えてくれただろう。しかし、高校生は自分で道を決め、歩いていかなくてはならない。毎日何に取り組むのかも自分で決められるコロナ期間は、高校生としての素質を試されていると言えよう。そこで今回はぜひその素質を磨ける手段を紹介しよう。

1 世の中に関心を持つ

今日本で何が起きていますか？ 答えはコロナ。暗く不安になるニュースばかりだが、新聞・テレビ・スマホなどで多くの情報を得ているだろう。この機会にたくさんの情報に触れよう。できれば新聞が望ましい。自分の目に飛び込んできた見出しを見て、「どういうこと？」と疑問を持って読んでみよう。わからなくてもOK。毎日読んでいたら見える景色は変わる。アプリでもたくさんの良いアプリがある。「自分には関係ない」という考えは中学生で終わりにしてほしい。



2 社会の仕組みを理解する

1でたくさんの情報に触れ続ければ、次第に世の中がどうなっているのか、薄っすらだがわかってくる。「理解できたら私たちになんのメリットがあるの？」と中学生は思うだろう。高校生ならこう答えてあげよう。「大ありだよ。君たちは何もわからない場所に、何も準備せずに入ろうとしているの？」と。高校を出たら社会に出る。大学生も社会で活躍する人たちだ。その社会で活躍・適応しようと思っているなら、高校時代に社会のことについて知っておくことのメリットは君たちなら理解できるだろう。

Action!

上の1・2を実践するために、コロナを利用する方法を紹介しよう。

【 コロナ目線で社会を見る 】

コロナが社会の様々な分野にどう影響を及ぼし、社会がどう変化するのか？などを、コロナ目線で見よう。手順としては以下を参考にしよう。

- ① コロナ研究ノートをつくる
- ② 毎日コロナに関して自分の関心のある記事やニュースをメモする
- ③ ある程度（1週間くらい）情報を収集したら、調べてみたい分野を考える
- ④ その分野に絞って記事やニュースをメモする

この習慣をつけて1か月やってみよう。社会の全部を理解する必要はない。自分の興味・関心のある分野に絞って情報収集・整理をすれば、高校生としての大事な素質が知らずのうちに身についているだろう。例えば、堅苦しい政治や経済・国際といった分野じゃなくても、「おうちでできるチャレンジ」「休校はいつまで？」「日本はコロナに勝てそう？」など、自分で知りたいテーマなどを作って調べてみよう。ちなみに先生は「おうちでできるチャレンジ」をテーマにいろいろ調べてみると、ギネス世界記録でおもしろいチャレンジを見つけた。剣道部は現在チャレンジ中（詳しくは学校HPを見てね）。調べてみると、いろいろなところで面白い取り組みや、社会の仕組みを知ることができるチャンスが転がっている。ぜひ、社会に関心を持って5月を乗り切っていこう！